

エイチ・エス 銘柄レポート

# 株式会社SKIYAKI

「ファンクラブ・ファンサイトサービス、マーチャンダイジング及び電子商取引サービス並びに電子チケットサービス」

コード番号：3995 主要上場市場：マザーズ市場

- プラットフォーム事業
- 映画・映像制作事業
- イベント事業
- 旅行・ツアー事業

事業の内容 ファンクラブ・ファンサイトサービス、マーチャンダイジング及び電子商取引サービス並びに電子チケットサービス  
市場区分 東京証券取引所 マザーズ市場  
代表者の役職氏名 代表取締役社長 宮瀬 卓也  
1単元の株式数 100株

ワンストップ・ソリューションプラットフォーム「SKIYAKI EXTRA」にて展開するファンクラブ・ファンサイト、ECサイトの売上が主力。

## ◎最近の業績動向

決算年月	売上高 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当り 純利益(円)	1株当り 純資産(円)
平25.1月期	199	-61	-88	-102.84	28.17
平26.1月期	497	-28	-29	-23.38	103.99
平27.1月期	810	-18	-19	-10.56	161.80
平28.1月期	1,138	-107	-148	-82.52	79.28
平29.1月期	1,721	132	115	62.92	142.20

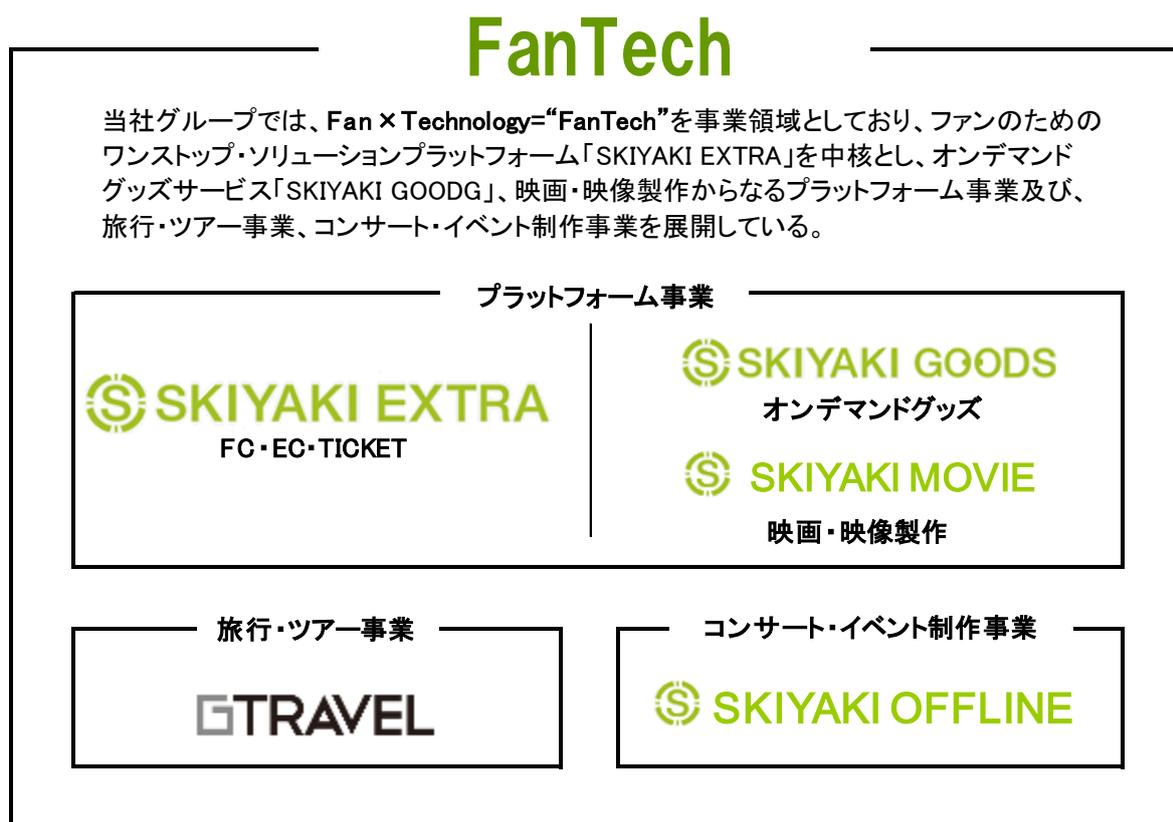
- (\*) 上場時発行済株式数1,995,000株(予定) (会社資料より)  
(\*) 平成27年1月期までは単体決算、平成28年1月期より連結決算。  
(\*) 平成25年4月1日付で1株を100株、平成29年6月1日付で1株を20株に分割を実施。  
(\*) 1株当たりの数値は分割修正後の数値。

これからの時代には、人間が最も力を発揮できる「創造・遊び」の領域における革命的な変化＝「創造革命」が人々から求められていると考え、企業理念に掲げる。

「創造革命」の担い手であるアーティストやクリエイターは、音楽・漫画・アニメ・映画・舞台・アートなどのエンタテインメント領域で活動を行っている。

当社グループは、創造的な活動を行う人やコンテンツには、応援し支える「ファン」の存在が不可欠と考え、ファンのためになるサービスをテクノロジーによって実現し、新しいマーケットを創造する取り組みを、Fan×Technology＝“FanTech”と定義し、事業活動を行っている。

## ■事業の概況



出所：会社資料より HS 証券作成

## ■事業の内容



・ワンストップ・ソリューションプラットフォーム  
「SKIYAKI EXTRA」

これまで、日本国内における音楽産業の収益構造の変化にいち早く着目し、今後、「ファンクラブ」、「グッズ」、「チケット」の3つがアーティスト活動を支える主要な収益源になると捉え、それらの関連機能をワンストップに提供するソリューションプラットフォーム「SKIYAKI EXTRA」を開発、提供。平成29年7月末現在、総登録会員数は118万人（前年同期比57.9%増）となっており、現在は、音楽業界にとどまらず、漫画・アニメ及び2.5次元ミュージカル等のジャンルへの提供もすすんでいる。

機能	FC	EC	チケット
概要	ニュース、プロフィール、ディスコグラフィ(注1)等の基本情報や、画像、動画、ブログ、チケット先行販売、限定グッズ販売、イベント参加などのサービスが得られるファンクラブサイトの提供	ECサイトのシステム開発やデザイン制作だけでなく、倉庫管理、物流、顧客対応、マーケティングなどを含んだフルフィルメント(注3)サービスの提供	電子チケットの販売管理システム、及び入場時にチケット券面を携帯電子端末に表示する専用アプリと、チケット券面を携帯電子端末で読み取る専用アプリの提供
特徴	レベニューシェア(注2)モデルによる導入のしやすさ 最大37カ国語対応の人的翻訳が可能 行動履歴のリアルタイム集計・分析	FC会員限定の商品販売や事前予約販売、オリジナル特典の封入など様々な販売方法に柔軟に対応	30秒ごとに自動更新されるワンタイムQRコード認証(特許出願中)と不正転売防止対策、公式二次流通マーケットの提供

出所：会社資料より HS 証券作成

### 用語説明

**(注1) ディスコグラフィ**

作曲家・演奏家・ジャンルごとなどにレコードや音楽CDをまとめ、その録音年月日などの諸データを載せた目録のことを指す。

**(注2) レベニューシェア**

委託契約ではなく、パートナーと連携し、相互の協力で生み出した利益をあらかじめ決めておいた配分率で分け合うことを指す。

**(注3) フルフィルメント**

通販やECサイトで顧客が商品を注文してから、手元に届くまでに発生する業務全体のことを指す。

## ・オンデマンドグッズサービス「SKIYAKI GOODS」

イラストや写真などの画像データをアップロードするだけでオリジナルグッズを作成・販売できるサービス。

商品在庫を持たず、オンラインでの受注が発生した後に、各アイテム素材にデザインのプリントを施し商品発送を行う。

グッズの販売者は誰でも、在庫リスクなく一点から自分がデザインしたイラストや写真をグッズにして販売することができる。

サービス利用は無料で、初期投資・サイト運営費等の負担もない。

グッズの購入者は、アップロードされているデザインとアイテムを選び、デザインのサイズや配置を自由に設定した上で、オリジナルグッズの購入ができる。

## ・映画・映像制作事業

映像やストーリー、音楽などのエンタテインメント要素が集約された「総合芸術」である映画を、ファンとアーティストをつなぐ上での重要なコンテンツとして捉え、映画・映像製作を行っている。

## ・その他の事業



### 旅行・ツアー事業

連結子会社である株式会社ロックガレージにおいて、旅行・ツアー事業である「G TRAVEL」を展開し、主に「SKIYAKI EXTRA」にてFCを運営しているアーティストのファンクラブツアーやライブ・イベント参加ツアー等の企画・運営をしており、これまでに国内はもちろん、海外ツアーの催行実績もある。



### コンサート・イベント制作事業

関連会社である株式会社SKIYAKI OFFLINEを中心に、コンサートやイベント、ファンミーティング等の企画・運営を行っている

当社が多数のFCサービスを運用する上で蓄積されたデータやノウハウを、リアルエンタテインメント領域において活用し、ファンとの架け橋となるイベントを展開している。

## ■ 当社グループの強み

1	<b>アーティスト・プラットフォームの開発力とノウハウ</b> 当社グループで提供するアーティスト・プラットフォームは、高い専門性を有した人材の確保に努めながら、企画、開発、サイト運営及びサポートに至るまでのすべてのプロセスを当社グループで一貫して行う体制を整え、ノウハウを蓄積してきた。また、単一のプラットフォーム上で各種サービスを展開しているため、各サイトの運用から得られる改善点を迅速にシステムに反映することで、サービス全体のクオリティを高めていくことが可能となっている。
2	<b>サイト制作スピードと運用体制</b> 効率化されたプラットフォーム及び業務フローにより、非常に短期間で多数のFCサービス、ECサービスのリリースが可能となっている。年間120以上のサイト(オフィシャルサイト、ファンクラブ・ファンサイト、ECサイト)のリリース実績があり、サイトの運用は、専門知識を備えたIT業界、音楽・エンターテインメント業界の経験者が担当しており、パートナー企業・アーティストとコミュニケーションを図りながら、ファンに向けたサービス提供を行う体制が整っている。
3	<b>戦略的パートナーシップ</b> 当社グループは、カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社(以下、「CCC」と)、平成26年2月にCCCの会員基盤やTSUTAYAなどの事業基盤を活用したファンクラブ・ファンサイト事業の本格展開に向けた資本・業務提携を行っている。また、大手プロダクションである株式会社アミューズ及び株式会社ビーイングと資本・業務提携を行っており、各社の所属アーティストや保有コンテンツに関するサービスを「SKIYAKI EXTRA」を通じて提供している。

出所：会社資料より HS 証券作成

## ■ 今後の展開

当社グループは、高度情報化の発展に伴う急速なテクノロジーの進化に対応し、サービスのユーザーに対して価値のある革新的なサービスを提供していくために、事業ドメインである“FanTech”領域において、研究開発活動に取り組んでいる。

エンターテインメント領域でのブロックチェーン (\*1) 技術の活用

人工知能 (\*2) 技術の自社サービスへの応用、業務効率の改善

VR (\*3) 技術を利用した 360° リアルタイム VR LIVE 配信事業の創出

### 用語説明

#### (\*1) ブロックチェーン

ビットコインの中核技術として発明された、ピア・ツー・ピア方式によるデータ処理の基盤技術のことを指す。複数のコンピュータが分散合意形成を行い、暗号署名をしながらブロック単位で複数データを処理する点が特徴。

#### (\*2) 人工知能

人工的にコンピュータ上などで人間と同様の知識を実現させようという試み、あるいはその一連の基礎技術のことを指す。AI(Artificial Intelligence)とも呼ばれる。

#### (\*3) VR

Virtual Reality の略で、現物・実物ではないが、機能としての本質は同じであるような環境を、ユーザの五感を含む感覚を刺激することにより理工学的に作り出す技術及びその体系のことを指す。「仮想現実」または「人工現実感」とも呼ばれる。

### 【ご投資にあたって】

本レポートの記載の内容を参考にして国内金融商品取引所に上場する株式（売買単位未満を除く）を営業店でお取引をされる場合、約定代金に対して最大 1.0476%（税抜）（ただし約定代金の 1.0476%に相当する額が 3,000 円に満たない場合は 3,000 円（税抜）。手数料率等は取引チャネルにより異なります。）の委託手数料をご負担いただきます。

また、株式相場、金利水準、不動産相場、商品相場等の価格の変動等及び有価証券の発行者の信用状況（財務・経営状況含む）の悪化等、それらに関する外部評価の変化等により損失が生じるおそれ（元本欠損リスク）があります。信用取引などを行う場合には、対象となる株式等または指標等の価格変動により損失の額がおお客様の差し入れた委託保証金などの額を上回るおそれ（元本超過損リスク）があります。なお、商品毎に手数料及びリスク等は異なりますので、当該商品の目論見書及び契約締結前交付書面をよくお読みください。

### 【免責事項】

■本レポートは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成されたものですが、エイチ・エス証券はその正確性、完全性、適時性を保証するものではありません。

■本資料に基づき投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、エイチ・エス証券は、理由の如何を問わず責任を負いません。

■本資料は、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の銘柄等の勧誘、売買の推奨または相場動向の保証等を行なうものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、本資料をお客様ご自身のためにのみ、お客様の限りでご利用ください。なお、当社の事前の承諾なく、本資料の全部もしくは一部を引用または複製、転送等により使用することを禁じます。

### 【利益相反情報について】

■当社および関係会社又はその役職員は、本資料に記載された証券についてポジションを保有している場合があります。また、本資料に記載された会社に対して、引受等の投資銀行業務、その他のサービス提供の勧誘を行なう場合があります。

■当社の役員（会社法に規定する取締役、監査役又はこれに準ずる者をいう。）が、以下の会社の役員を兼務しております。

：澤田ホールディングス、エイチ・アイ・エス、クリーク・アンド・リバー社

(商号等) エイチ・エス証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 35 号

(加入協会) 日本証券業協会